

生研 ニュース

創刊 1 週年

生産技術研究所の創設が国立学校設置法にもとづき官報で公布されたのが昨年5月31日、11月には開所披露の式典があつたが、“生産研究”は式典に先んじて、10月1日創刊した。爾來、本誌發刊の使命とするところを忠實に實行し、毎月定期の發行も少しも違ふことなく實施されてきた。本誌は發刊の際にも述べたとおり、廣く國內の産業技術界と結びつき、生産技術上の諸問題をとりえて解決していこうとすることにある。したがつて母體である生産技術研究所の發展が本誌に影響することは自明であるが、本誌がまた、生産技術者との媒介役を果すことがきわめて重要となる。大學が社會から隔離された存在であるかのように思われていたとしても、それは過去の概念である。本誌の編集會議はいつもこの問題を新しい問題として、しかも初心の修業者のような心持で討議している。部外者殊に讀者諸氏から寄せられた鞭撻や忠告・叱責に對しては、處女のような氣持でこれを聴いてきた。いろいろのありがたい刺戟は、過去1年間に正規の編集會議だけでも延 1,600 時(4時×16人×25回)を削かしめた。驅けめぐる蟻 10 匹のうち、7 匹までは遊んでいるのだそうだが、編集委員一同は蟻とは全く同日の談でないことを報告して、第2周年への決意をお傳へする。

編集後記

◇「生産研究」も創刊以來すでに1年を経て、これからいよいよその眞價を問われる時期であると、われわれも大いに張り切つている。さて前年度の前半は一般號としてこの研究所の研究成果の發表に重點をおいたが、専門が多岐にわたり、まとまりが悪いとの批評もあり4月號からアルミニウム、眞眞、眞眞、眞眞、工業計測といった特集テーマに重點をおいた編集方針にきりかえて、一つの焦點に各種の専門を協力させ、他では得られない長所を發揮しようとした計畫編集の苦心を買つていただきたいと思う。短時日と未経験のため充分な成果は上つていないにして

も、今後のテーマや編集方針についてどしどし御注文をいただき皆様のお役にたつものとしたと考えている。
◇この10月號は、一週年紀念としていろいろの専門分野を綜合したテーマというので、わが國の工業技術の中で特に劣つていると考えられる工業製品の仕上げ、意匠の問題をとりあげ、造型能力においては決して遜色のないわが國が、本腰をいれて教育練磨に努力さえすれば、世界一流のレベルに達することができるインダストリアル・デザインへの關心を高める一助とした。これによつて日本の製品が少しでも美しくなり、國民生活がうるおえば幸である。(S.H. 1950・8・25)

部 外 活 動

一 講 演

- ◇教授 星野昌一「輕金屬組立住宅の設計について」AURC 主催講演會 (1950・3・17)
- ◇教授 坪井善勝「輕金屬の建築構造への應用」同上
- ◇助教授 加藤正夫「建築材料としてのアルミニウムとその合金」同上
- ◇助教授 元良誠三「見掛質量について」造船協會春季講演會 (1950・5・10)
- ◇助教授 加藤正夫「海外における車輛への輕金屬の利用状況について」輕金屬協會主催講演會 (1950・6・24)

一 寄 稿

- ◇教授 菊池眞一 長谷川久「鉛蓄電池の電極の電流分布」電氣化學 1950年5月號
- ◇助教授 石井義郎「油脂水酸化の研究第10報」「工業化學雜誌 1950年6月號」「同上第11報」同7月號
- ◇助教授 淺原照三「 α -オレフィンに関する研究、第4報」有機合成化學協會誌 1950年4月號「アルミニウム及びアルミニウム合金の塗装」機械の研究 1950年7月號
- ◇助教授 加藤正夫「アルミニウムペイントについて」輕金屬資料 第59號

一 放 送

- ◇教授 菊池眞一「やさしい科學「眞眞及び電氣化學」」1950・8月中 毎週火曜日 21時から

編 集 委 員

編集委員長	星 合 正 治
編集委員	三 木 五 三 郎
	* 鈴 木 弘
	* 元 良 誠 三
	齋 藤 成 文
	* 星 野 昌 一
	淺 原 照 三
	松 下 幸 雄
	小 川 正 義
	江 口 雅 彦
	森 大 吉 郎
	鳥 飼 安 生
	武 藤 義 一
編集幹事	下 村 潤 二 朗
編集室	水 野 晴 明
	(* 印は當番委員)

表紙説明:

世界最大のスパン(3,200)呎をもつ金門橋、6車線と人道が36.5吋の鋼索で、高さ746呎の高塔に吊られている。

第2巻第10號 生産研究 定價 120圓(郵税6圓)
1950年9月25日印刷 1950年10月1日發行

編 集 者	星 合 正 治 東大生産技術研究所 千葉市千葉局内彌生町 電話 千葉 366-370	印刷所	大同印刷株式会社 東京都千代田區神田錦町 3-1
發 行 者	小 川 誠 一 郎	發 行 所	株式會社 誠文堂新光社 東京都千代田區神田錦町 1-5 電話 神田 (25) 2126-2130 振替 東京 6294・6567
印 刷 者	井 關 好 彦		